

現在の情報空間の課題

→アテンションを得る刺激的な投稿・動画が収益に直結する「アテンション・エコノミー」とも呼ばれるビジネスモデルの下、偽誤情報、誹謗中傷などが瞬時に拡散・増幅。民主主義にも影響。さらに依存症やメンタル・ヘルスとの関連も指摘されている。

→情報の摂取に関するリテラシーの向上が急務。

しかし、ネットの複雑性、横文字・・・

老若男女に届くようなリテラシー教育を展開する必要！

そこで、「食」とのアナロジーを用いた「**情報的健康**」のススメ

食べ物を摂取するときには、①バランスよく食べる、②食品の安全性を確かめて暴飲暴食しないなどを気をつける。

→情報が氾濫する社会においては、情報を「食べる」ときにも同じような意識が重要ではないか。現在の課題は、①情報の「偏食」や②情報の安全性・信頼性を確かめずに「暴飲暴食」することに由来している部分がある。

情報についても、①バランスよく、②安全性・信頼性を確かめることが重要。そうした情報的健康をつくることで、偽情報などに対しても「免疫」ができる。また、経済モデルに対する懐疑的な視点も形成されるのではないかと（何でも削除ではない、表現の自由フレンドリーな対策でもある）。

食べ物はカラダをつくる、情報はココロをつくる
——情報的な健康に気を付けよう